



総研大ニューズレター

第90号 2015.11 発行

●目次

【今月のトピックス】

平成 27 年度秋季入学式

平成 27 年度後学期 総研大フレッシュマンコース

JSPS サマー・プログラム 報告会・送別会

地域文化学・比較文化学専攻 オープンキャンパス

プレスリリース

「記憶や学習能力のベースラインは子ども時代につくられる！」

総務課

学融合推進センター

国際・社会連携課

地域・比較文化学専攻

広報社会連携室

【イベント情報】

主なイベント予定

10月13日-2月16日

学融合レクチャー「科学と対話」

11月1日

日本歴史研究専攻 大学院説明会

11月3日

第18回 先導科学研究科 学術講演会

11月6日

統計科学専攻 大学院説明会

11月7日

遺伝学専攻 大学院説明

11月7日

基礎生物学専攻 大学院説明会

11月7日

生命共生体進化学専攻 説明会・講演会

11月14日

総研大 URA カフェ

11月21日-22日

学術交流フォーラム 2015

11月26日-28日

平成 27 年度 総研大-UST 共同セミナー

「ビッグデータと計算科学ワークショップ」

【今月のトピックス】

● 平成 27 年度秋季入学式



平成 27 年 10 月 5 日 (月)、総研大葉山キャンパスにおいて、平成 27 年度秋季入学式が行われ、世界 12 カ国から 29 名の入学者を迎えました。式典に先立ち、フルーティストの佐々木真さん、ピアニストの新垣隆さんによる音楽演奏がありました。式典は、開式の辞、役職員の紹介に続き

て、入学者の名前が一人ずつ読み上げられ、入学が許可されました。最後には岡田学長より式辞があり、出席者は緊張した面持ちで聞き入っていました。

【総務課】

● 平成 27 年度後学期 総研大フレッシュマンコース



平成 27 年度秋季入学式の後、10 月 5 日から 8 日の 4 日間で平成 27 年度後学期総研大フレッシュマンコース（F C）が開催されました。今回は 23 名の新入生・在学生在が受講しました。また、学生セミナー実行委員（学生委員）の在在生、先端科学研究科及び学融合推進センターの葉山キャンパスの教員に加え、各研究科からの F C 担当教員などの先生方にご参加いただきました。今年度の F C は「学生セミナー」「研究者と社会」「ライティング実習」「知のフロンティア」の 4 つのプログラムで実施されています。なお、後学期は英語で開催され、参加学生もほとんどが外国人留学生でした。

1 つ目の「学生セミナー」では、グループに分かれてお互いに様々な質問をするアイスブレイクを行い、懇親会に進みました。役員から挨拶をいただいた後、懇親会の途中には各グループからのグループ紹介があり、学生同士の交流が深まったように感じました。次の日には、学生委員から“How to survive in SOKENDAI”と題して、それぞれの留学経験や総研大での研究生生活の紹介がありました。アンケートではこれから研究生生活を送るうえで、非常に参考になったという学生からの意見が多く見られました。



2 つ目の「研究者と社会」は、葉山キャンパスの「科学と社会」チームを中心に実施され、研究倫理を含めた、社会における研究者の役割について考える機会が提供されました。「そもそも研究者とは何であろうか」という、研究の社会史についての講義を始めとし、研究倫理については、研究における不正行為等の講義を行い、次に最良の研究者像をグループで検討するワークショップ

プ（WS）を行いました。WSにはFC担当教員にも一つのグループとして参加していただき、学生と同じく発表までしていただきました。学生グループの発表についても学生からの質問はもちろんありましたが、先生グループへの質問が多かったのは印象的でした。最先端で活躍されている先生方が考える最良の研究者像に学生達は興味津々だったようです。また、遺伝子組み換え作物を巡る社会問題を題材に、研究者グループと農業関係者グループに分かれ、それぞれの利害について意見し、研究者として社会に伝えるべきメッセージは何か、異なる立場のそれぞれの価値観を理解するとは何か、などの科学コミュニケーションについても学びました。

3つ目の「ライティング実習」では、“Scientific Writing”と題して、英語でのライティングについて学びました。始めの講義に基づき、二人一組のペアワークを中心としたEditing WSを行いました。出された課題の推敲を行っている間はとても静かでしたが、それぞれの推敲について話し出すと、お互い熱心に意見しあっている姿が見られました。次のAbstract WSでは、出された課題を基にアブストラクトを作成するペアワークを行いました。ここではFC担当教員にも学生の作成したアブストラクトと一緒に確認していただきました。なかなか難しい内容だったようで、学生達は少し苦戦していたようです。しかし、アンケートではhelpfulという言葉が多く見受けられ、安心しました。



4つ目の「知のフロンティア」では、歴博・総研大名誉教授の新谷尚紀先生（現・國學院大學大学教授）をお迎えして、「鳥居」「祇園祭」を題材に日本文化についてご講演いただきました。留学生にとっては違う国の文化の新鮮な話だったと思いますし、日本人学生にとっても新しい考え方に触れられる機会になったかと思います。その後のWSでは、講演内容を再確認したうえで、自国の文化や自分の研究分野についての話し合いをしました。各グループのプレゼンテーションは準備時間が短かったものの、上手くまとめられていたと思います。

後学期は4日間の合宿というスケジュールでしたが、学生達が仲良くなるには十分だったようで、連絡先を交換している様子を何度か見ました。後学期は前学期と違い英語での実施ということもあり、参加学生も国際色豊かで、異分野交流に加え、異文化交流もできたのではないかと思います。授業内容については、学生からは概ね良いアンケート結果でしたが、今後も一つ一つ課題を改善していく予定です。

新入生の皆様には各専攻での研究、日本での生活と新しいことが多く待ち受けているかと思いますが、今回出会った仲間との交流をこれからも大切にいただければと思います。今後、益々のご活躍を祈念しております。最後になりましたが、本プログラムにご尽力いただいた葉山及び各専攻の先生方に御礼申し上げます。

【学融合推進事務室】

● JSPS サマー・プログラム 報告会・送別会

JSPS サマー・プログラムにおいて、アメリカ合衆国、イギリス、フランス、ドイツ、カナダ及びスウェーデンの6ヶ国から来日した博士号取得前後の若手外国人研究者（フェロー）が、全国各地の大学・研究機関での2ヶ月間の研究活動を終え、平成27年8月19日、東京九段下に一堂

に会し、その研究報告会が行われました。各国の学術機関から選ばれた7名の代表者が、主に自分の研究成果について、日本での生活や文化体験にも触れながら、発表を行いました。フェロー受入機関の先生方も参加され、発表後は研究分野を超えて、活発な質疑応答が行われるなど、熱心な学術交流が見られました。

報告会の後、送別会が開催されました。中村卓司教授（極地科学専攻）、栗木哲教授（統計科学専攻）、木下充代講師（先導科学専攻）をはじめ全国から約20名の受入機関の研究者や、6月に行われたJSPSサマー・プログラム開会式におけるオリエンテーションで琴の演奏をしてくださった安藤政輝先生もお越しくださり、参加者は総勢170名を超え、プログラムの締め括りにふさわしい盛大な会となりました。また、送別会の途中で、現在理化学研究所にて研究員をされているDr. Donald Warrenより、事業経験者としてのプレゼンテーションがありました。Dr. Warrenは、2年前の2013年度JSPSサマー・プログラムフェローであり、日本へ再来日し研究活動を続けるためにJSPSのFellowshipをどのように利用できるのかなど、多くのフェローにとって興味深いお話をいただきました。

フェローのみなさんや国際コミュニケーションに参加した本学学生は、開会式以来の再開を喜び合いながら、日本での研究活動や将来的な展望等について熱心に話し込んでいました。



7～8月に、フェローの研究状況や生活状況をお伺いするため、受入機関を訪問した際のフェロー一達のコメントについて、以下のとおり一部の要約を述べさせていただきます。

○Helen Davidge (BC) 宇宙科学専攻・JAXA/ISAS/ The Open University 観測的宇宙論

- ・受入機関・受入研究員は以前より知っていたか
以前に JAXA/ISAS にて研究従事していた元 JSPS フェローから話しを聞いていた。
- ・受入機関での研究について
赤外線天文学を専門とし「あかり」の研究の中心である受入機関研究者に従事し、データ解析を行っている。
- ・オリエンテーションで一番印象に残ったことは
ホームステイは素晴らしい経験であった。また書道も楽しんだ。漢字は絵のようで覚えやすく、日本人研究者とのコミュニケーションも円滑に行っている。

○Dane Wilburne (NSF) 統計科学専攻・統計数理研究所/Illinois Institute of Technology 応用数学

- ・受入機関・受入研究員は以前より知っていたか
シアトルでの学会において Dane さんの実際の受入研究者が、Dane さんの指導教員と共に研究をした縁で受入れに至った。
- ・研究室・日本での様子
みんな親切である。統計数理科学の世界は小さいのでネットワーク作りにとっても役立っている。いつでも専門分野について意見を交換することができるのがよい。また、大阪で行われた国際会議に参加できて有益だった。
- ・オリエンテーションについて

現地発の飛行機が遅れてしまい、初日は参加できなかったが問題なく終了することができた。ホストファミリー先では楽しく過ごすことができた。

○Daniel Kastinen (STINT) 極域科学専攻・国立極地研究所/Lulea University of Technology 宇宙物理学

- ・受入機関・受入研究員は以前より知っていたか
元 JSPS ポスドクフェローにより紹介された。受入の先生方とはサマー・プログラム以前より共同研究をしてきている。
- ・日本での研究、サマー・プログラムについて
あらゆる国からきた人々と話し合いができること、また対処法が違うということも学んだ。世界で一番といわれている信楽 MU 観測所に行き、ヘッドエコー観測の統計分析がとれたことがよかった。
- ・オリエンテーションの感想
ポスタープレゼンテーションは、もう少し時間が長ければよかった。ホームステイは楽しかった。

○Nathan Buerkle (NSF) 総研大生命共生体進化学専攻/University of Chicago 神経生物学

- ・研究について
アゲハの視細胞の記録をとることからはじめたが、これがなかなか難しい。受入教員のサポートを得ながら地道に実験に励んでいる。
- ・日本での生活について
他機関で研究しているフェローと共に富士山を登頂した。大変素晴らしい経験だった。日本の食事はどれもおいしく、生活も楽しんでいる。



○Skylar Johnson (NSF) 筑波大学/Washington State University 生物科学

- ・受入機関の研究者との出会い
Skylar さんの友人の担当教員からの紹介により理化学研究所の研究者を紹介して頂いた。人の輪が広がり今後の相互の共同研究交流への発展が期待できる。
- ・研究場所について
受入教員が理化学研究所と兼任の為、はじめの1ヶ月は理化学研究所横浜キャンパスにて研究し、その後筑波大にてデータ分析等研究にて研究従事する。
- ・心配だったこと
研究に使う実験用の種が届かずかなり心配であったが、届いてからは順調に研究が進んだ。

○Nelson Lourenco (NSF) 宇宙科学研究所/Georgia Institute of Technology 電気コンピューター工学

- ・受入機関・受入研究員について
実際の受入教員と1年前にパリの会議で知り合ったのがきっかけで受入に至った。
- ・研究室について
連携が取れており、よく一緒に出かけている。今後更に、宇宙研と Georgia Institute of Technology (所属機関)との研究交流が広がることを期待している。
- ・日本で最近行った場所
ロボットレストラン。おどろいた。日本はかわいいものがいっぱいある
- ・サマー・プログラムについて
2ヶ月は短い気がする。オリエンテーションは、とても忙しかったが、ホストファミリー先に滞在したのはとてもいい経験であったし、グループディスカッションは、自分の研究内容に関係もあり大変よかった。

【国際・社会連携課】

● 地域文化学専攻・比較文化学専攻 オープンキャンパス



10月12日（祝・月）、国立民族学博物館において、平成27年度総合研究大学院大学 文化科学研究科 地域文化学専攻・比較文化学専攻のオープンキャンパスが開催されました。民博でのオープンキャンパス開催は、平成12年度に始まり、今年で16回目を迎えます。秋晴れの好天に恵まれ、14名の参加がありました。

説明会は、須藤健一館長による挨拶に引き続き、大学院と民博の概要、大学院の教育内容や入試などについて地域文化学・比較文化学の両専攻長からの説明があり、その後、質疑応答を行いました。参加者からは進学を想定した具体的な質問も多く、活発な質疑応答となりました。

その後、館内施設を案内し、場所を大学院生室に移し、交流会を開催しました。

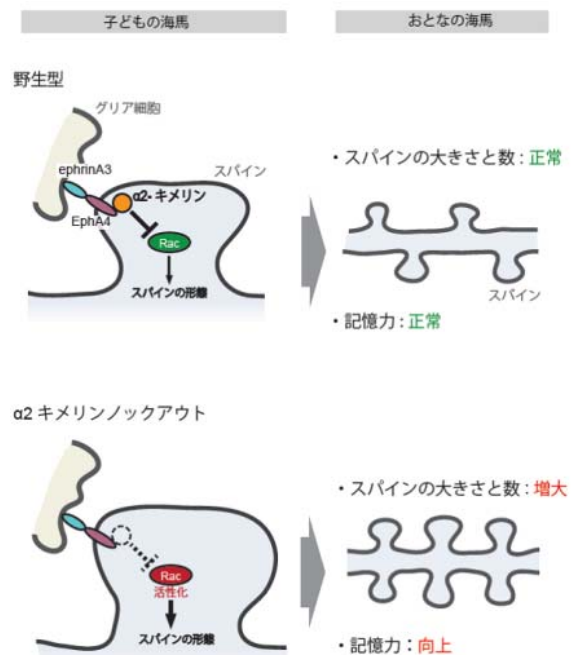
交流会では、比較文化学専攻の終了生である窪田暁氏による「総研大（みんぱく）での大学院生活」等、実際に経験してきた卒業生ならではのエピソードが語られ、参加者に好評でした。その後、参加者と民博の教員・在学生との歓談の時間を設けました。参加者からは、実際にキャンパスを訪れ、教員や学生と交流することで得られた情報も多く、大変参考になったという意見が寄せられています。

【地域・比較文化学専攻】

● プレスリリース「記憶や学習能力のベースラインは子ども時代につくられる！」

【概要】

記憶や学習などの脳機能は、神経細胞が無数につながった回路内で、情報がやりとりされることで発揮されます。神経細胞の樹状突起には「スパイン」とよばれる小さな棘状の構造があります。マウスを用いた研究では、記憶が形成される際にその記憶に使われるスパインの形態（大きさと数）が増大し、逆に使わない回路のスパインは小さくなり数も減ります。また、自閉症や統合失調症などの患者さんの脳の多くで、スパイン形態の異常がみつかっています。これらの知見は、スパインの形態が脳機能に重要な影響を及ぼすことを端的に示しています。一方で、「どのような分子が、いつ、どのようにはたらくことで、スパインの形態を制御しているのか」についての知見は不足しています。加えて、スパインの形態はおとなになってからも柔軟に変化するために、「おとなのスパインが、子どもの時（発達期）のスパイン形成によって、どのように、どのくらい影響を受けるのか」といったことも謎のままです。



今回、国立遺伝学研究所 形質遺伝研究部門の岩田亮平研究員・岩里琢治教授らは、理化学研究所脳科学総合研究センターの糸原重美チームリーダーらとともに自ら作製した複数種類のノックアウトマウスを解析し、スパインの形態形成に「 $\alpha 2$ キメリン」というタンパク質が関与していることを発見しました。さらに、このタンパク質が、子どもの時（発達期）の脳ではたらくことで、おとなになってからのスパインの形態と脳機能（記憶力）を調節していることも突き止めました。このような本研究の成果は、脳発達の理解や、自閉症などの病態解明にも役立つと期待されます。

詳細は下記URLをご覧ください。

<http://www.soken.ac.jp/news/23117/>

※特に総研大在学生在が筆頭著者として研究論文を出版する際、プレスリリースを行う場合は、総研大と所属専攻（基盤機関）との共同プレスリリースを行っておりますので、是非総研大広報社会連携室までご連絡ください。

【広報社会連携室】

【イベント情報】

●総研大の行事

11月

開催日	時間帯	イベント名称・開催場所	参考URL
10月13日(火)– 2月16日(火) 毎週火曜日	18:15–19:45	学融合レクチャー「科学と対話」 国立情報学研究所、日本科学未来館	https://www.soken.ac.jp/event/20151013/
1日(日)	13:00–16:00	日本歴史研究専攻 2015年大学院説明会 国立歴史民俗博物館 大会議室	http://www.rekihaku.ac.jp/education_research/education/graduate_school/soukendai/admission/briefing.html
3日(火)	10:00–12:00	第18回 先導科学研究科 学術講演会 葉山キャンパス	https://www.soken.ac.jp/event/20151103/
6日(金)	14:00–16:00	統計科学専攻 大学院説明会 統計数理研究所 2階会議室1	http://www.ism.ac.jp/senkou/setsumeikai.html
7日(土)	12:30–16:00	遺伝学専攻 大学院説明・国立遺伝学研究所 公開 講演会「研究者と語ろう」 学術総合センター2階	http://www.nig.ac.jp/kouenkai/
7日(土)	13:00	基礎生物学専攻 大学院説明会 秋葉原UDXカンファレンス	http://www.nibb.ac.jp/graduate/index.html
7日(土)	13:00–17:00	生命共生体進化学専攻 説明会・講演会 秋葉原UDXカンファレンス	https://www.soken.ac.jp/event/20151107-3/
21日(土)–22日 (日)		文化科学研究科 学術交流フォーラム2015 国文学研究資料館	http://www.soken.ac.jp/event/bunka-forum2015/
26日(木)–28日 (土)		学融合レクチャー・総研大–UST共同セミナー 「ビッグデータと計算科学ワークショップ」 生産性国際交流センター	https://www.soken.ac.jp/event/2015-skd-ust-jointseminar/

12月

開催日	時間帯	イベント名称・開催場所	参考URL
14日(月)–16日 (水)		学融合レクチャー「科学技術倫理と知的財産権II 応用編」 放送大学東京文京学習センター	https://www.soken.ac.jp/event/20151214-16/

●基盤機関の行事

11月

開催日	時間帯	イベント名称・開催場所	参考URL
7月31日(金)– 11月末(予定)	10:00–18:00	国文学研究資料館の企画展示「ぼくらのヒーロー は古典から生まれた!!」 文部科学省 情報ひろば	http://www.mext.go.jp/joho-hiroba/sp/index.htm
8月27日(木)– 11月10日(火)	9:30–16:30	特別展「韓日食博—わかちあい・おもてなしのか たち」 国立民族学博物館 特別展示館	http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/special/20150827food/index
9月5日(土)–11 月8日(日)	9:30–17:00(9月30 日まで) 9:30–16:30(10月1 日から)	巡回展「夷酋列像 —蝦夷地イメージをめぐる人・ 物・世界—」 北海道博物館	http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/thematic/traveling/ishuretsuzo_hokkaido
10月6日(火)– 12月6日(日)	9:30–16:30	大久保利通とその時代 国立歴史民俗博物館 企画展示室	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/project/index.html

10月13日(火) - 11月20日(金)	10:00-16:30	特別展示「韓国古版画博物館名品展」 国文学研究資料館 展示室	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/exhibition/2015/kankoku.html
10月13日(火) - 11月上旬	10:00-16:30	展示特設コーナー「折々の源氏物語」 国文学研究資料館 展示室	
10月17日(土) - 11月23日(月・祝)	10:00-17:00	「武器をアートにーモザンビークにおける平和構築」 東京藝術大学大学美術館 本館 展示室3	http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/thematic/traveling/peace_geidai
10月20日(火) - 11月23日(月・祝)	9:30-16:30	泥絵と江戸の名所 国立歴史民俗博物館 第3展示室 特集展示	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/special/index.html
10月31日(土) - 1月11日(月・祝)	9:30-17:00	巡回展「岩に刻まれた古代美術ーアムール河の少数民族の聖地シカチ・アリヤン」 横浜ユーラシア文化館 3階企画展示室ほか	http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/thematic/traveling/sikachi_yokohama
1日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロンー研究者と話そう「オセアニアの食文化ーパンの実とタロイモの料理」 国立民族学博物館 本館展示場 (ナビひろば)	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/403
3日(火・祝)	13:00-17:15	公開フォーラム「世界の博物館2015」 国立民族学博物館 第5セミナー室	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/rm/20151103
3日(火・祝) - 29日(日)	9:30-16:30	くらしの植物苑特別企画 伝統の古典菊 国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/plant/project/index.html
4日(水)	19:00-20:30	連続講座「みんなく×ナレッジキャピタルー世界の天然素材ー」「毛皮ー防寒とファッションと」 グランフロント大阪北館 1Fナレッジキャピタル The Lab. CAFE Lab.	http://www.minpaku.ac.jp/museum/showcase/activity/knowledge/2015nm
7日(土)	12:30-16:30	国立遺伝学研究所 公開講演会2015 「研究者と語ろう」 学術総合センター2階	http://www.nig.ac.jp/kouenkai/
7日(土) - 8日(日)	13:00-18:00 9:00-11:00	公開共同研究会「医療者向け医療人類学教育の検討ー保健医療福祉専門職との協働」 国立民族学博物館 第4セミナー室	http://www.minpaku.ac.jp/research/activity/news/iurp/15jr179_01
8日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロンー研究者と話そう「石毛さんに聞く：日韓の食文化研究」 国立民族学博物館 特別展示館	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/404
12日(木)	10:30-11:50	ミンパク オッタ カムイノミ (みんなくでのカムイノミ) 国立民族学博物館 玄関前広場	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/workshop/kamui15
12日(木) - 15日(日)	11:00-15:00	アイヌ工芸 in みんなく 国立民族学博物館 エントランスホール (本館1階)	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/workshop/ws_20151112-15
13日(金)	18:30-20:40	みんなく公開講演会「育児の人類学、介護の民俗学ーフィールドワークによる再発見」 日経ホール (東京)	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/alp/151113
14日(土)	13:00-15:00	第383回歴博講演会「大久保利通資料に関するあれこれ」 国立歴史民俗博物館 講堂	http://www.rekihaku.ac.jp/events/lecture/index.html
17日(火)	14:00-16:30	第294回日文研フォーラム「鉄道から見た東アジアの歴史」 ハートピア京都 大会議室	http://events.nichibun.ac.jp/ja/
18日(水)	19:00-20:30	連続講座「みんなく×ナレッジキャピタルー世界の天然素材ー」「木でつくられる挽物ー「木材の工芸的利用」の探究」 グランフロント大阪北館 1Fナレッジキャピタル The Lab. CAFE Lab.	http://www.minpaku.ac.jp/museum/showcase/activity/knowledge/2015nm
21日(土)	10:00-16:30	第98回歴博フォーラム「さらにわかった！縄文人の植物利用ーその始まりと編みかご・縄利用ー」 国立歴史民俗博物館 講堂	http://www.rekihaku.ac.jp/events/forum/index.html

21日(土)	13:30-15:00	みんなくゼミナール「シルクロードの古代都市遺跡と歴史空間」 国立民族学博物館 講堂	
22日(日)	13:30-16:00	春から秋のみんなくフォーラム2015「時を超える南インドの踊り」 国立民族学博物館 講堂	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/slp/151122
28日(土) 29日(日)	13:00-20:00 10:00-18:00	公開シンポジウム「ユニバーサル・ミュージアム論の新展開—展示・教育から観光・まちづくりまで—」 国立民族学博物館 第5セミナー室	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/rm/20151128-29
28日(土)	13:00-16:40	台湾文化光点計画 伝統と創意—台湾客家の工芸と音楽 国立民族学博物館 講堂	
28日(土)	13:30-15:30	第200回くらしの植物苑観察会「参勤交代と菊作りの広がり—江戸藩を事例に—」 国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑	
29日(日)	13:00-16:40	台湾文化光点計画 伝統と創意「台湾の客家文化産業」 国立民族学博物館 第4セミナー室	
29日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう「聖者崇敬からみたシリア、レバノン、ヨルダン、パレスチナ」 国立民族学博物館 本館展示場 (ナビひろば)	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/405

12月

開催日	時間帯	イベント名称・開催場所	参考URL
1日(火)-1月31日(日)	9:30-16:30	くらしの植物苑特別企画 冬の華・サザンカ 国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑	
1日(火)	14:00-16:30	第295回日文研フォーラム「日中両国はどう付き合うべきか——王正廷の「王道・霸道」論から考える」 ハートピア京都 大会議室	http://events.nichibun.ac.jp/ja/
2日(水)	19:00-20:30	連続講座「みんなく×ナレッジキャピタル—世界の天然素材—」 「南米アンデス文明における金の利用」 グランフロント大阪北館1Fナレッジキャピタル The Lab. CAFE Lab.	http://www.minpaku.ac.jp/museum/showcase/activity/knowledge/2015nm
5日(土)	11:00-13:00	研究公演関連ワークショップ「仮面を生かす踊り」 国立民族学博物館 講堂	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/slp/151205-06
6日(日)	10:00-17:00	第99回歴博フォーラム「縄文時代・文化・社会をどのように据えるか？」 明治大学リバティタワー	http://www.rekihaku.ac.jp/events/forum/index.html
6日(日)	14:00-16:00	研究公演「息づく仮面—バリ島の仮面舞踊劇トペンと音楽」 国立民族学博物館 講堂	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/slp/151205-06
6日(日)	11:00-12:00	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 国立民族学博物館	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon
10日(木)-1月26日(火)	10:00-17:00	年末年始展示イベント「さる」 国立民族学博物館 本館展示場 ナビひろば	
12日(土)		みんなく映画会 みんなくワールドシネマ「イロイロぬくもりの記憶」 国立民族学博物館	
12日(土)	13:00-15:00	第384回歴博講演会「描かれたアイヌ民族」 国立歴史民俗博物館 講堂	http://www.rekihaku.ac.jp/events/lecture/index.html

13日(日)	13:30-16:00	国立天文台講演会「時空を超えた挑戦：一般相対性理論100周年と重力波天文学」 学術総合センター 一橋講堂	http://www.nao.ac.jp/news/notice/2015/20150918-naoj-lecture.html
13日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 国立民族学博物館	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon
12月15日(火)– 2月7日(日)	9:30-16:30	第3・第4展示室特集展示「夷酋列像」 国立歴史民俗博物館 第3・第4展示室 副室	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/special/index.html
16日(水)	19:00-20:30	連続講座「みんなく×ナレッジキャピタル—世界の天然素材—」「インドの野蚕—その特徴と魅力」 グランフロント大阪北館1Fナレッジキャピタル The Lab. CAFE Lab.	http://www.minpaku.ac.jp/museum/showcase/activity/knowledge/2015nm
19日(土)	13:30-15:00	みんなくゼミナール「ベトナム、黒タイの台所」 国立民族学博物館 講堂	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar
19日(土)	13:30-15:30	第201回くらしの植物苑観察会「サザンカの系統保存」 国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑	
19日(土)	14:00-17:00	日文研公開講演会「アジアの万博」 国際日本文化研究センター 講堂	
20日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 国立民族学博物館	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon
23日(水)	13:30-15:00	連続講座「みんなく×ナレッジキャピタル—世界の天然素材—」民博展示ツアー「貝の魅力—その使用価値、装飾的価値、象徴的価値」 国立民族学博物館	http://www.minpaku.ac.jp/museum/showcase/activity/knowledge/2015nm

【受賞】

○物理科学研究科 構造分子科学専攻 橋谷田俊 学生
分子科学会 第9回分子科学討論会 2015 「優秀ポスター賞」 受賞

○物理科学研究科 宇宙科学専攻 柴田拓馬 学生
日本航空宇宙学会 宇宙科学技術連合講演会 「ポスターセッション学生優秀賞」 受賞

○複合科学研究科 統計科学専攻 吉野諒三 教授
日本計画行政学会 「第27回論説賞」 受賞

○複合科学研究科 極域科学専攻 川村賢二 准教授
日本気象学会 「堀内賞」 受賞

○複合科学研究科 情報学専攻 Duy-Dinh Le 准教授ら
国際会議 MMSP (IEEE International Workshop on Multimedia Signal Processing) 2015
「Top 10% Paper Award」 受賞

【編集後記】

今月号の記事としても掲載した後学期フレッシュマンコースの開催支援をしました。今回は英語開催ということで、私も拙い英語で学生さんへの事務連絡・コミュニケーションをしました。つくづく英語が堪能な研究者（事務員も）はすごいなあと思いました。そういう時代になったのでしょうか。日本人学生の一人は「外国語が飛び交う中で、時々理解できないことがあって、日本に来ている留学生はこういう気持ちなんだろうなあ、と思いました。これから留学生の前では英語で話してあげたいと思います。」と言っていたそうです。それぞれの学生が学術面以外でも良い経験をして、思うところがあつたら嬉しいです。

前々号で少し触れましたが、小林誠 名誉教授と中村真 中央大教授（修了生）の学長との対談記事が総研大ウェブサイトに掲載されました。是非ご一読いただければ幸いです。

http://www.soken.ac.jp/outline/message_index/



広報社会連携室 Y. H

○広報社会連携室では、総研大の研究成果をメディアを通じて広く社会に発信しています。特に、総研大在学生在が筆頭著者として研究論文を出版する際、プレスリリースを行う場合は、総研大と所属専攻（基盤機関）との共同プレスリリースを行っておりますので、是非総研大広報社会連携室までご連絡ください。

○各専攻の学生・担当教員の「メディア出演」、「受賞・表彰」および「地域社会と連携・密着したアウトリーチ活動等の社会連携・貢献活動」についてニューズレター、ウェブ掲載等により発信しておりますので、各種情報は是非お寄せください。

○研究論文を投稿する場合や、メディア等に出演される場合は、「総合研究大学院大学」と表記いただきますよう、総研大の知名度向上にご協力をお願いいたします。

発行 2015年11月4日
編集



国立大学法人
総合研究大学院大学
SOKENDAI (THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES)

神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）
広報社会連携室

TEL 046-858-1590 / FAX 046-858-1632

Email kouhou1(at)ml.soken.ac.jp

※(at)は@に変換してください。

©2015SOKENDAI